

中国から携帯品で持ち込まれた豚肉製品からの  
アフリカ豚コレラ(ASF)ウイルス遺伝子検査陽性例について(3例目)

- 11 月9日(金)に大連から成田空港に到着した旅客の携帯品から検疫探知犬が探知し、任意放棄された豚肉ソーセージ(2.5kg、一定の加熱がされている模様)について、11 月 21 日(水)に動物検疫所において ASF の遺伝子検査(PCR)を実施したところ、ASF ウイルスの遺伝子を確認。
- このため、22 日(木)に実施したシーケンス(PCR 増幅産物の遺伝子配列の解析)の結果、PCR 産物の配列が ASF ウイルスに特異的なものであることを確認した。
- 今後は農研機構 動物衛生研究部門において、感染力のあるウイルスが存在するかを確認するため、ウイルス分離を実施(結果は2~4週間後に出る見込み。)
- 農林水産省としては、本年8月3日に初めて、中国において ASF が確認され、また 10 月 19 日及び 11 月9日に中国から携帯品で持ち込まれた豚肉製品から ASF ウイルスの遺伝子が確認されたことを受け、動物検疫を強化するとともに、関係省庁や航空会社等に情報提供し、水際検疫を徹底しているところ。
- また、今月 16 日には都道府県との Web 会議を実施し、更なる注意喚起を行ったところ。今回の件を受けて、都道府県や養豚関係団体を通じて、生産者に対して情報を提供し、農場への侵入防止のため飼養衛生管理基準を遵守するように改めて指導する。

(検体写真)※目視上密封の、片面ビニール・片面アルミ包装。左写真は 0.7kg。

